



令和8年産（7年播種）



麦類の生育概況 vol.4

埼玉県マスコット
「コバトン」

（令和8年3月5日現在）
埼玉県農業技術研究センター

要 約

- ◎気象概況：2月の月平均気温はかなり高かった。降水量は月末に降雨があり平年並みとなったがそれまではかなり少なかった。日照時間は平年並であった。
- ◎生育状況：11月中に播種されたほ場では、おおむね必要な茎数を確保できているが12月以降に播種されたほ場では茎数が少ない。茎立期は平年並からやや早いと見込まれる。
- ◎今後取るべき技術対策
 - ・追 肥：麦種、品種及び生育に合わせた追肥を実施する。「さとのそら」は必ず実施する。
 - ・排水対策：排水機能を保つよう排水溝の点検補修を行う。
 - ・雑草防除：雑草の種類と葉齢を確認し、処理適期を逃さないよう防除を行う。
 - ・病害虫防除：麦の生育に合わせた赤かび病防除計画をたて、適期に防除を行う。

1 気象の概況

2月の平均気温は、第1、3、4半旬が平年より高く、第5、6半旬はかなり高く、月平均では平年より2.1℃高かった。2月7日、8日はそれぞれ合計1cm、9cmの降雪があり、降水量は第2、5、6半旬に降雨があったものの、その他の期間には0.5mm以上の日はなく、月合計では平年比82%となった。日照時間は第1半旬が平年よりかなり多く、第2半旬はかなり少なく、第3、4半旬は平年並、第5、6半旬は少なく、月合計では平年比95%となった。

2 生育の概況

（1）所内生育相

ア 小麦（「さとのそら」：11月25日播種）

2月は高温に経過し、2月25日調査時点まで降雨は少なかったものの、茎数は平年（令和2～6年の5か年平均）比111%、葉位は平年差0.8となった。稈長は4.8mm（平年3.1mm）と平年より長く、幼穂分化ステージも進んでいる。2月26日に気象庁が発表した1か月予報では、3月の平均気温は平年より高い見込みのため、茎立期*は平年より早まると予想される。

* 茎立期は稈長が2cmになった時期をいい、「さとのそら」では偽茎長（地面から最上位の展開葉の葉節（葉耳部分）までの長さ）がおおよそ7cmの

時が莖立期と判断できる。

イ 大麦（「ニューサチホゴールデン」：11月25日播種）

2月は高温に経過し、2月25日調査時点まで降雨は少なかったため、草丈が平年比84%、莖数は93%、葉位は平年差-0.2と依然として平年（令和5、6年の2か年平均）を下回っている。稈長は9.5mm（平年15.1mm）と平年を下回ったが、幼穂分化ステージは平年並であった。2月25日以降、平均気温は高く経過し、まとまった降雨があったため、幼穂の伸長は促進され、莖立期は平年並となった。3月の平均気温は高い見込みと予報されていることから、出穂期は平年より早まると予想される。

（2）県内全般

2月の平均気温はかなり高かったが、11月以降少雨傾向が継続していたことから、肥料吸収が遅れ、生育量、特に分けつの発生が遅れていた。2月末にまとまった降雨があったことから、11月中に播種されたほ場ではおおむね必要な莖数を確保できている。しかし、12月以降に播種されたほ場では莖数が少ない。

11月に播種された大麦ほ場では莖立ちが始まっている。

3 今後の生育予測

（1）気象予測

1か月予報（気象庁：3月5日発表）では、平均気温は平年並か高く、降水量は少ない見込みである。

3か月予報（気象庁：2月24日発表）では、4月、5月とも平均気温は高く、降水量はほぼ平年並の見込みである。

（2）生育予測

11月播種のほ場では莖立期、出穂期ともおおむね平年並と見込まれる。また、12月以降に播種されたほ場では、莖立期以降も分けつが発生するので、特に大麦では遅れ穂が多発すると予想される。

4 今後取るべき技術対策

（1）追肥

小麦は、「さとのそら」の追肥体系では出穂2週間前（平年3月下旬）に窒素成分で3～4kg/10aを目安に施用する。ただし、莖立ち後の機械散布が困難な場合は、莖立ち直前に実施する。「あやひかり」は追肥の適期を過ぎているが、肥切れ等で葉色が薄い場合には窒素成分で1～2kg/10aを目安に施用する。

大麦では追肥の適期を過ぎているが、肥切れ等で葉色の薄い場合には窒素成分で1～2kg/10aを目安に施用する。

また、12月以降に播種されて茎数が少ないほ場では、追肥は倒伏や遅れ穂の発生につながるため、追肥を見合わせるか施用量を5割程度減らして行う。

(2) 排水対策

茎立期以降のまとまった降雨は、根の機能を低下させ湿害を助長する。排水溝が埋もれていないか、外部の排水路としっかり連結されているか等を確認し、不備があれば速やかに補修する。

(3) 雑草防除

茎立期を過ぎると使用できる除草剤が限られるため、早めに雑草の種類と葉齢を確認し、処理適期を逃さないよう防除を行う。特に、カラスノエンドウ、カラスムギなど、子実が収穫物に混入するおそれのある雑草は確実に除草する。

(4) 病虫害防除

赤かび病の防除は必ず実施する。防除時期は下表を目安にする。

平年の出穂時期は、11月播種の小麦が4月中旬、大麦は3月末～4月上旬であり、12月播種はこれより数日～10日程度遅くなる。

2年連続して赤かび病の発生が多かったことから、ほ場における赤かび病菌の密度が高いことと、茎数不足で葉色が濃いことから、赤かび病の感染リスクは高まっている。出穂期以降に昨年のような高温多湿傾向が続くと、赤かび病が多発するおそれがあることから、出穂状況をよく観察し、防除適期を逃さないよう、防除の準備を行う。

表 赤かび病防除の目安

小麦	<ul style="list-style-type: none">出穂から7～10日後を目安に開花始めを確認し、直ちに薬剤を散布。その後、降雨が継続した場合、開花10日後に追加の薬剤を散布。
ビール麦 (二条大麦)	<ul style="list-style-type: none">穂揃期の10日後に薬剤散布。
六条大麦	<ul style="list-style-type: none">穂揃期に薬剤を必ず散布。その後、降雨が継続した場合、開花10日後に追加の薬剤を散布。

解析・考察に用いた具体的数字

1. 2月の気象表（熊谷气象台日別測定値から集計）

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	5.2	4.4	12.1	10.0	-0.9	-0.4	0.0	5.4	47.4	36.5	
2	3.1	4.6	8.7	10.2	-2.5	-0.2	5.5	4.7	26.8	36.0	
3	7.7	4.9	14.7	10.6	1.1	0.1	0.0	6.3	38.1	35.5	
4	6.6	5.4	11.3	11.0	2.2	0.5	0.0	7.0	32.9	35.0	
5	10.8	5.9	17.2	11.5	4.8	1.0	17.5	7.3	29.2	34.4	
6	11.7	6.4	17.3	12.0	7.4	1.5	3.5	5.1	16.1	19.9	
平均	7.2	5.1	13.3	10.8	1.6	0.3	合計	26.5	32.3	190.5	199.8

注.半旬数値は熊谷地方气象台日別測定値から集計。ただし、月平均・合計は气象台値。

平年値は 1991～2020 年の气象台値。

2. 生育状況

品種名	調査日	草丈(cm)		茎数(本/株)		葉位(L)		風乾重(g/100本)		風乾歩合(%)	
		本年	平年比	本年	平年比	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年差
さとのそら	2月5日	10.0	95	4.1	95	5.0	0.2	14.2	108	24.7	1.9
	2月16日	11.7	99	6.3	100	6.2	0.6	22.3	104	21.3	1.2
	2月25日	15.6	104	9.6	111	7.4	0.8	35.8	96	15.6	-0.9
ニューサチホゴールド	2月5日	12.8	89	6.7	77	5.2	-0.5	24.0	72	18.0	2.6
	2月16日	15.8	94	10.4	96	6.3	0.1	44.6	83	15.9	0.5
	2月25日	21.0	84	12.9	93	7.3	-0.2	67.1	64	12.6	0.5

注1. 平年値は「さとのそら」が令和2～6年播種の5か年平均、「ニューサチホゴールド」が令和5、6年播種の2か年平均（以下同様）。

注2. 風乾重は 100 個体当たりグラム、風乾歩合は風乾重/生体重。

注3. 平年比は%。

3. 幼穂分化

品種名	調査日	稈長(mm)			幼穂長(mm)			幼穂分化ステージ	
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年
さとのそら	2月25日	4.8	3.1	155	1.1	1.0	110	VII後～VIII	VII前～後
ニューサチホゴールド	2月25日	9.5	15.1	63	3.2	4.0	81	IX後～X	IX後～X

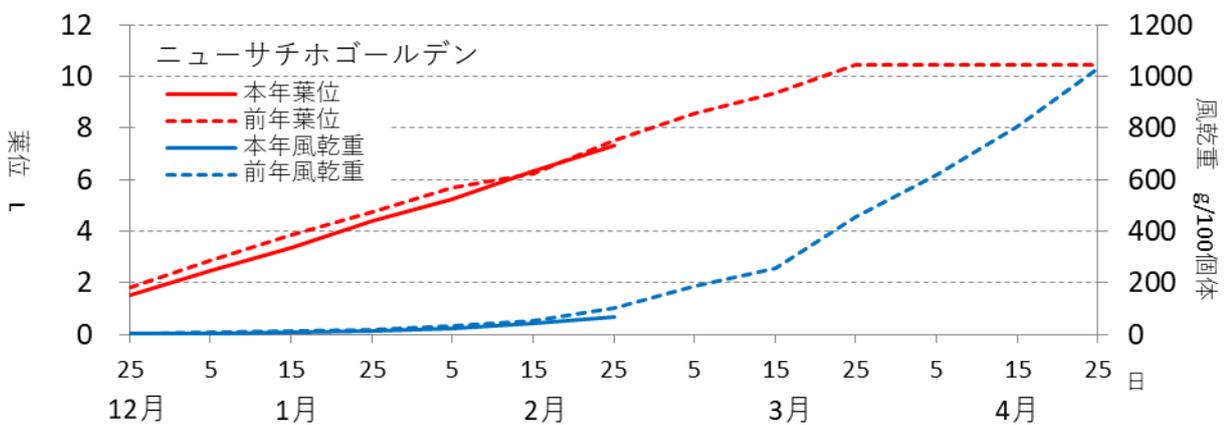
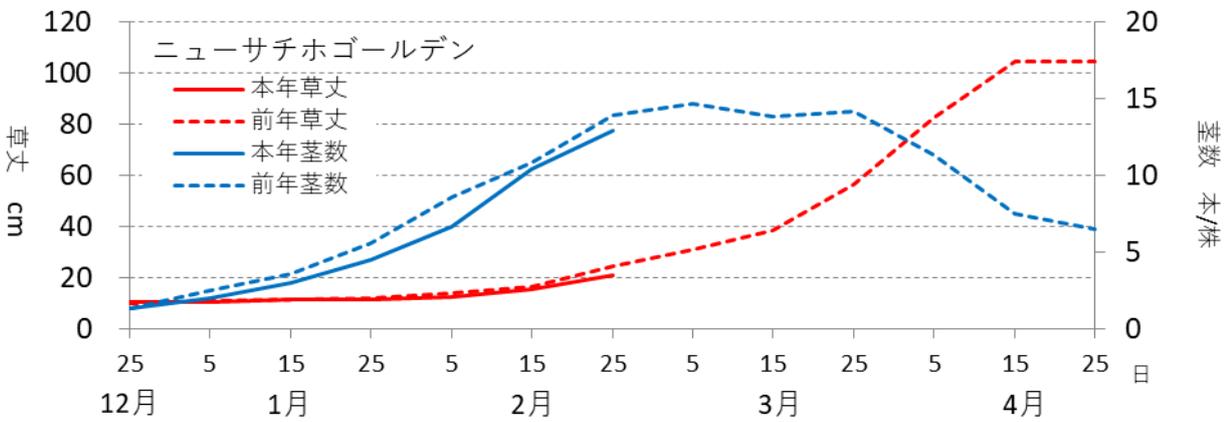
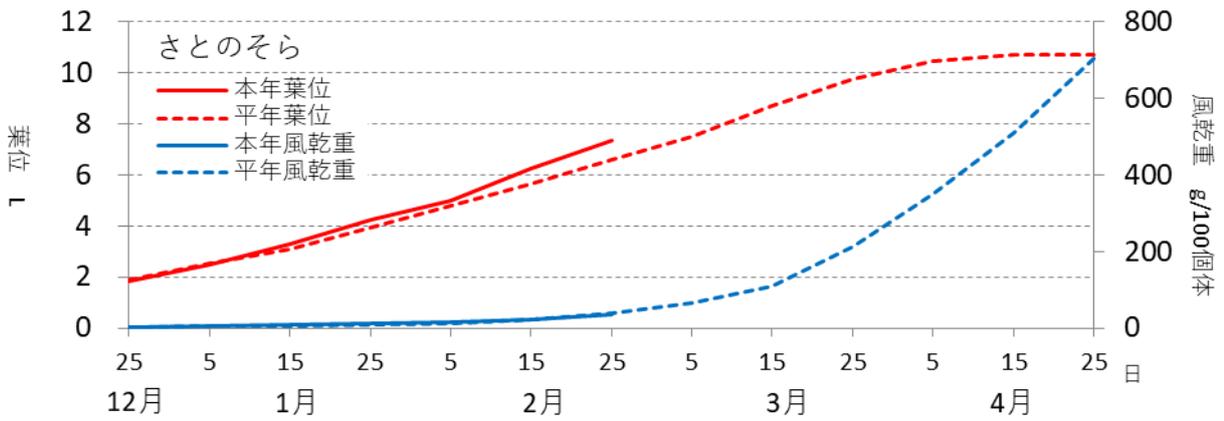
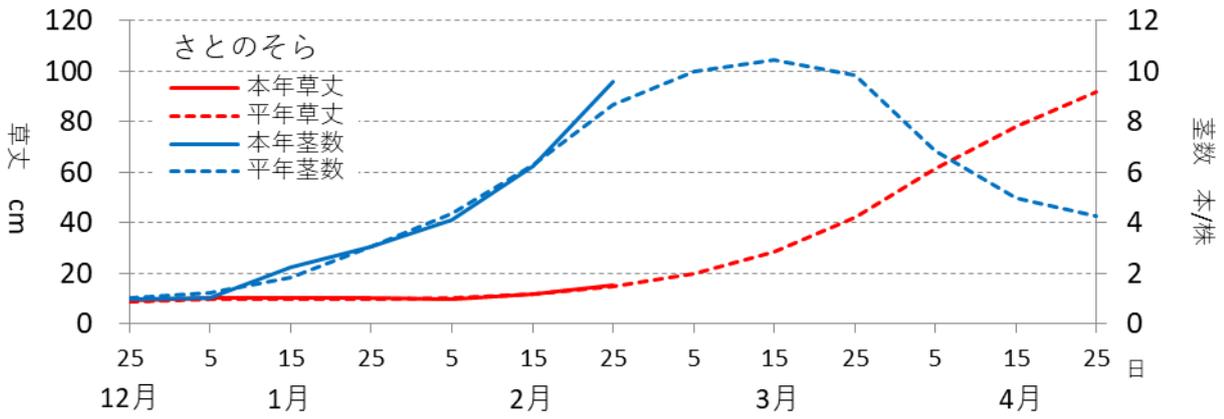
4. 茎立期

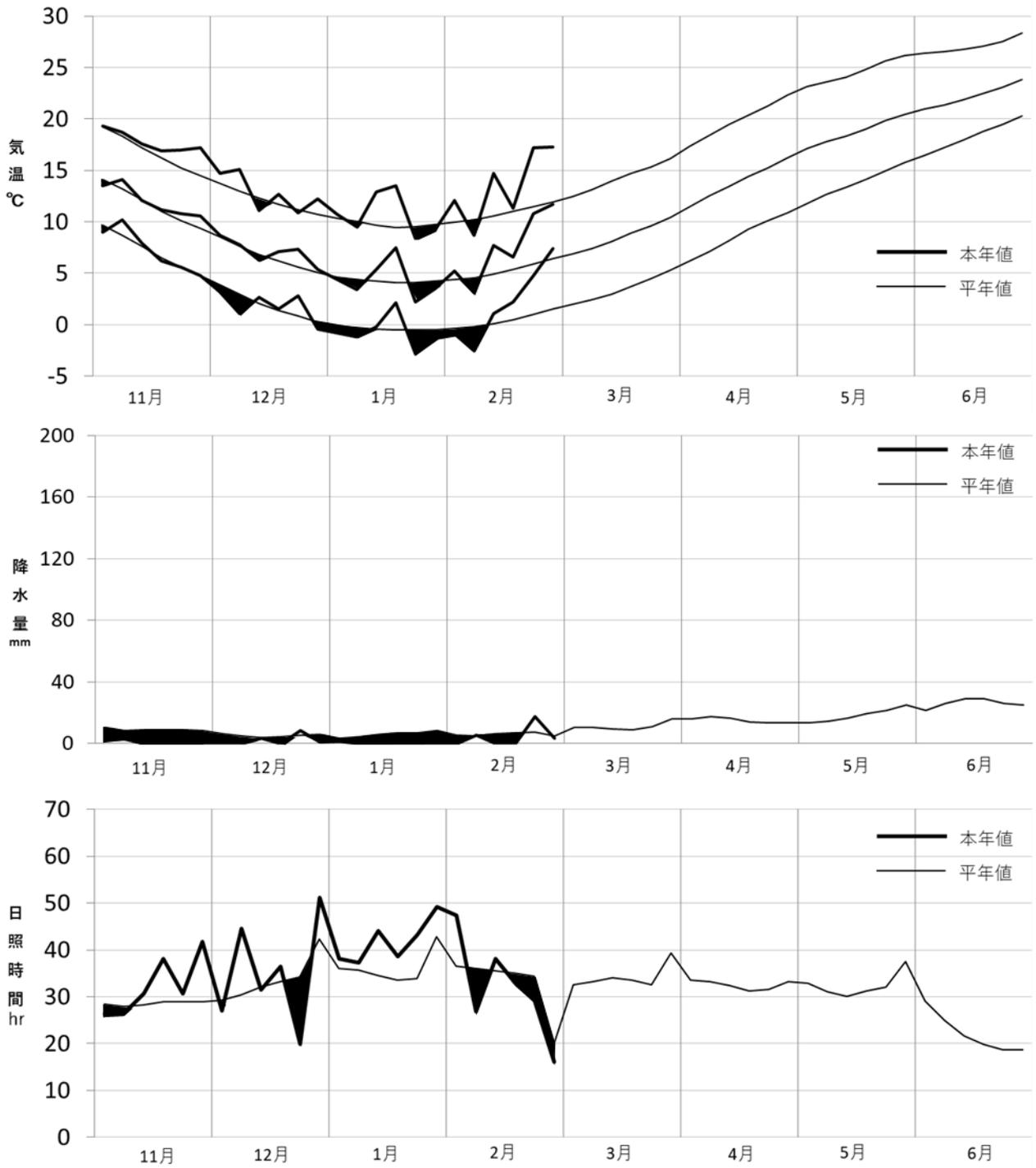
品種名	茎立期		
	本年	平年	平年差
さとのそら	-	3/14	-
ニューサチホゴールド	3/2	3/2	0

参考.出穂期の平年値

品種名	出穂期
さとのそら	4月10日
ニューサチホゴールド	4月5日

5. 生育経過（11月25日播種）





令和7年播（8年産）冬作期間気象図
 （熊谷地方気象台日別データより作成）